

法政大学出版局

『ピエール・ベール著作集』


全8巻・補完1

近代の黎明、スピノザ、ライプニッツ、ロックらと時を同じくして、神学的形而上学の仮借ない解体作業により全ヨーロッパを震撼させた、『歴史批評辞典』著者「ピエール・ベール」。

語られること多く、知られることもっとも少ない哲学者の全貌。第2回日仏翻訳文学賞受賞。第34回日本翻訳文化賞受賞



KinoDenのメリット

 **全文 TRIAL** 未購入タイトルも含めて全点全文検索&試し読み機能を標準装備しています。

 **paper book** or and  **e-book**

Web選書支援システムSmartPLATON (PLATON)と併せてご提供、紙と電子の選択収書が実現します。



学生・教員からのリクエスト機能で「本当に使われる電子図書館」を実現します。



レスポンスなサイトデザインでスマートフォンでも快適にご利用いただけます。



無料アプリで本棚、マークやコメント、通知などさまざまな機能をご利用いただけます。

『ピエール・バール著作集』全8巻・補巻1

NO	書影	著者	Product ID	出版社名	底本 刊行 年月	フォーマット	同時 アクセス1 本体価	同時 アクセス2 本体価	同時 アクセス3 本体価
		署名	ISBN	内容紹介					
1		ピエール・バール 野沢協【訳・解説】	KP00034585	法政大学出版局	197811	PDF	19,800	—	29,700
		第一巻 彗星雑考	9784588120312	無神論者と偶像教徒の比較論を通じて、信仰と倫理の断絶、思弁と実践の乖離を鋭く衝き、その果てに「神なき社会」の可能性をかいまみさせた「自律的道德」宣言。					
2		ピエール・バール 野沢協【訳・解説】	KP00034586	法政大学出版局	197912	PDF	24,750	—	37,125
		第二巻 寛容論集	9784588120329	酸鼻をきわめた宗教的迫害に抗し、宗教的寛容を原則的かつ徹底的に主張して、著者を近代における「思想の自由」原理の最大の使徒の一人たらしめた諸論文を収録。					
3		ピエール・バール 野沢協【訳・解説】	KP00034587	法政大学出版局	198203	PDF	46,200	—	69,300
		第三巻 歴史批評辞典	9784588120336	「啓蒙」の世紀に歴史批判、神学・形而上学批判の宝庫として争って読まれた著者畢生の大作。本巻は、不敬の非難を浴びた「ダビデ」などA—Dまで200余項目。 ★『歴史批評辞典』は、従来の歴史記述への厳密な批判的吟味や大胆な哲学的神学的が一体となった著者の代表作です					
4		ピエール・バール 野沢協【訳・解説】	KP00034588	法政大学出版局	198411	PDF	57,750	—	86,625
		第四巻 歴史批評辞典	9784588120343	本巻は、「エピクロス」「エバ」「ゴルラウス」「グリエルメッタ」「日本」「レウキッポス」、さらには弁神問題をめぐる「マニ教徒」など、E—Oまで150余項目。 ★『歴史批評辞典』は、従来の歴史記述への厳密な批判的吟味や大胆な哲学的神学的が一体となった著者の代表作です					
5		ピエール・バール 野沢協【訳・解説】	KP00034589	法政大学出版局	198703	PDF	62,700	—	94,050
		第五巻 歴史批評辞典	9784588120350	本巻は、懐疑論に関する「ピュロン」をはじめP—Zまでの118項目を収録し、辞典の成立過程に重要な位置を占める論考など10篇、原典の全項目一覧を付す。 ★『歴史批評辞典』は、従来の歴史記述への厳密な批判的吟味や大胆な哲学的神学的が一体となった著者の代表作です					
6		ピエール・バール 野沢協【訳・解説】	KP00034590	法政大学出版局	198903	PDF	31,350	—	47,025
		第六巻 彗星雑考 続	9784588120367	「福音の道德をふみおこなう社会はたちまち滅びる」—シニカルな逆説をかかげ、非宗教的な道德の樹立、福音と現実世界の切断を徹底的に追求した晩年の代表作。諸々の伝承・迷信、「万人一致」の權威、占星術の虚妄、一神教と多神教、無神論者と偶像教徒の比較、宗教なき民族の存在等々が詳細に論議される。					
7		ピエール・バール 野沢協【訳・解説】	KP00034591	法政大学出版局	199210	PDF	62,700	—	94,050
		第七巻 後期論文集 1	9784588120374	多くの敵と凄絶な論戦を繰り広げ、理性と信仰の妥協・調停を一切拒んで、苦悶の中から重い問いかけを最後の日まで発し続けたバール最晩年の哲学的・神学的論争文書の全貌。やがてライブニッツが『弁神論』を著す原因となった「反楽天主義」の知られざる古典。					
8		ピエール・バール 野沢協【訳・解説】	KP00034592	法政大学出版局	199703	PDF	77,550	—	116,325
		第八巻 後期論文集 2	9784588120381	善なる神の統べる世界に罪と悲慘が溢れるのはなぜか。この根源的な問いをめぐり死の床でまで壮絶に論争し、今もなお問われつづける「神と悪」、「神と苦しみ」の大問題を後世に遺した最後の諸論考。					
9		ピエール・バール 野沢協【訳・解説】	KP00034593	法政大学出版局	200406	PDF	90,750	—	136,125
		補巻 宗教改革史論	9784588120398	フランス宗教改革の歴史を精査し併せて現下のプロテスタント迫害を糾弾しつつ信教の自由を説いたカルヴァン派宗教論争書。バールの出発点でありその実像を伝える初期の代表作。付・マンブール『カルヴァン派史』全訳。					